



とうえい

令和3年5月7日
東栄小学校
学校だより第2号

みんなちがって、みんないい！

長い間楽しませてくれた桜が葉桜となり、校内の木々も柔らかな萌葱色に染まり、5月の装いとなりました。先日の学級懇談会及び部活動懇談会には、感染症対策にご協力くださり、多くの保護者の皆様にお越しいただきありがとうございました。

さて、本校は「違いを認めてともに生きる」を重点努力目標の一つとして、教育活動を推進しています。そこで、童謡詩人である金子みすゞさんの詩「わたしと小鳥とすずと」を紹介します。

わたしと小鳥とすずと
わたしは両手をひろげても、
お空はちつともとべないが、
とべる小鳥はわたしのよう
地面をはやく走れない。
わたしがからだをゆすつても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのよう
たくさんうたは知らないよ。
すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。

わたしと小鳥とすずと

この詩の中に出てくる『みんなちがって、みんないい』が私の大好きな言葉です。『みんなちがって、みんないい』とは、一人一人の個性やちがいを認めて大切にすることであり、誰もがかけがえのない大切な存在だということです。この詩の最大の魅力は、「お空はちつともとべないが」「地面をはやく走れない」「きれいな音はでないけど」「たくさんうたは知らないよ」と、できないことや知らないことでも、あなたはあなたでいいよと言っているところです。私たちは、できることや知っていることを優先にしがちですが、どんなにできても、まだできないことがいっぱいあります。どんなに知っていても、まだ知らないことがいっぱいあります。できないことや知らないことがいっぱいあるということは、できる喜びや知る喜びがいっぱい、皆さん一人一人を待っているということです。

自分らしく生き、自分の夢に向かっていろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。そして、自分のよさをしっかり見つめ、相手のよさも分かる人になってほしいと思います。『みんなちがって、みんないい』のですから……。

～創立70周年今昔物語その1～

昭和27年4月1日、旭町立東栄小学校として開校しました。右の写真は正門と木造校舎です。



(校長 井田 寿)